

# 段ボールで 楽しい製作所

「とにかく本気で取り組みたい！」「まちの役に立ったり、まちと関わったりすることがしたい！」「自分たちも相手も楽しめる取組にしたい！」今年度の「大岡の時間」で目指すことを話し合う中で、自分たちが意識し、大切にしたいことが見えてきました。この3つを柱にして具体的に取り組むことを考えました。

いろいろな案が出る中で、弘明寺のまちには段ボールがたくさんありそうだという話題になりました。商店街をはじめ、たくさんのお店があるので、お願いすれば協力してくださるのではないかと考えました。でも、段ボールでどんなことができるのか？疑問と不安がわくわくする気持ちに変わったのは、女川の商店街「シーパルピア女川」にあるランボルギーニに似せて作った「ダンボルギーニ」のことを知ったからです。「段ボールでこんなことができるのか！」と大人の本気に驚いたり、おもしろさに感動したりすると同時に、「段ボール」そのものに興味をもちました。段ボールは自分たちにとって身近だけれど、実はあまりよく知らない素材であることに目を向け、段ボールを知ることから始めました。



本やインターネット等で調べてみると、初めて知ることで驚きの連続でした。その中で特に気になったのが強さに関することです。段ボールはどれも同じだと思っていたら、使われている紙もいろいろ、高さの種類もいろいろありました。「まちにも、『両面』以外の『片面』『複両面』『複々両面』の段ボールがあるのかな？」という疑問を解決するために、まちに出ました。お店ごとに使われている用途があり、それによってどのような段ボールが使われているのかが見えてきました。「まちの段ボールを使ってわくわくすることができるのか試してみたい！」と、お試し製作中です。第1弾として、またいで乗れるものを作ったことで、丈夫にするための構造や、思った形にするための方法等をみんなで確認できました。今はお試し第2弾「(10人くらい乗れる)ステージ」に挑戦中です。

